

議事概要記録

開催日時	平成 28 年 11 月 3 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 00	開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 28 年度 第 6 回理事会	議長	大石 博晃
		書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、田中 規仁、神藤 洋次、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、稲垣 充也、久保 光史、湊 健、脇村 小津江 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、17 名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 6 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 ⑩ 和歌山支部連盟 7. その他 和歌山県医学検査学会進捗報告 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その他 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・大石副会長より開会宣言があった。 冒頭、竹中会長より挨拶があった。各事業では個々にマニュアルが存在し、必要書類等の提出などは内規に沿って進めて行きたいと話があり、また会議を開催する際の、必要書類は当日に配布するのではなく、事前に配布し各自熟読し、意見等を持って会議に臨むべきであり、今後会議資料等はなるべく事務局が指定する日に提出する方向で進めていきたいと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第 32 回世界医学検査学会は 2000 名をこえる参加者で閉幕したと報告があった。 ② 第 65 回日本医学検査学会は 4470 名を超える参加者で閉幕したと報告があった。 ③ 「医学検査」通常号が J-STAGE へ掲載されると報告があった。 	

職能開発として

- ① 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会や検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会で和歌山県の受講率は約 56%であり、今後受講率を上げていきたいとのことであった。またこの講習会は大阪で来年度 5 回開催予定であり、9 月頃に和歌山県技師会が実務委員として開催するため委員を選出していくと報告があった。

人材育成として

- ① 平成28 年度「地域ニューリーダー育成研修会」を平成28 年11 月5 日(土)～7 日(月)で開催予定で和臨技より栗林理事を派遣すると報告があった。

総務より

- ① 第 66 回日本医学検査学会の参加費について、コンプライアンスを順守するために、当日参加費 10,000 円、事前登録参加費 9,000 円としたと報告があった。
- ② e-ラーニングを締結したので、今度運用を平成29年頃に開始すると報告があった。

日臨技支部関連の今後の予定として

- ① 11月12日(土)に開催予定である奈良県検査技師会主催の全国検査と健康展を視察予定と報告があった。

和臨技関連として

- ① 10月9日(日)にピンクリボン紀南が開催され無事に閉幕したと報告があった。
- ② 10月29日(土)、30日(日)に検査説明・相談ができる技師育成講習会(紀三井寺はやし)が開催され、3年計画であり最終的に計約70名の参加者で終了したと報告があった。

今後の予定として

- ① 11月19日(土)に世界エイズデーの和大祭でのH I V検査開催と和医大での医療セミナーと検査と健康展の同時開催があり協力の要請があった。
- ① 12月23日(金)災害研修会の開催があり協力の要請があった。

他団体関連として

- ① 11月6日(日)に和歌山県病院協会学術大会が開催され、和臨技より一般演題は3題、木下学術部長はシンポジストとして参加すると報告があった。

第6回常務会報告

- ① 日本臨床衛生検査技師会 各賞受賞候補者推薦、血液検査班症例ライブラリ 患者情報使用申請書(仮)について 一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 共催 協賛 後援内規(案)と学術関連の議題のため学術部より説明があると報告とした。

事務局報告

- ① 9月9日(金)日臨技より自然災害による会員に対する共済金等の支給申請書類が届き災害に必要なため各自確認くださいと報告した。
- ② 9月20日(火)「地域ニューリーダー育成研修会」の受講申請及び推薦について栗林理事を推薦したと報告した。
- ③ 10月3日(月)平成28年度医療従事功労者賞候補者の推薦について、表彰審査委員会で決定済である紀南病院 竹中正人副技師長を推薦すると報告した。
- ④ 10月6日(木)第14回病理・細胞診セミナー、サクラファイナテックジャパン株式会社に後援依頼があり受諾回答書を送付したと報告した。
- ⑤ 11月1日(火)平成28年度保健衛生(医事)功労者に対する知事感謝状贈呈者に公立那賀病院 蓬台克之技師長が決定したと報告した。

学術部報告

- ① 学術部班長班員会議を平成 29 年 1 月 28 日（日）に新橋ビルで開催予定と報告があった。
- ② 和歌山県病院協会学術集会関連で
9 月 7 日（水）に 第 2 回シンポジウム会議に出席したと報告があった。
10 月 19 日（水）までにスライド提出と報告があった。
11 月 6 日（日）に和歌山県病院協会学術大会が開催され、シンポジストとして参加すると報告があった。
- ③ 平成 28 年度の日本臨床衛生検査技師会 各賞受賞候補者推薦（日臨技学術奨励賞 優秀論文賞、日臨技学術奨励賞 特別症例賞、結核研究奨励賞）について該当者なしと説明があり審議し承認された。
- ④ 一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 共催 協賛 後援内規案について
現在、和臨技では共催 協賛は許可してしないが、後援に関しては理事会の承認があれば認めている。しかし内規などは制定していないため、一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 共催 協賛 後援内規を参考に作成して行くので、和臨技役員各位の意見を聴衆したいと説明があり継続審議と確認した。
- ⑤ 前回の理事会で血液研究班班長より症例ライブラリを作成し勉強会等で使用したいと報告があり、症例登録時は個人が特定できないようにし、また各所属長の了承が必要となるとあり、蓬台監事より、各所属長に提出する申請書の作成が提案されたが、施設により倫理委員会も半年に1回の開催などの事情により、申請書を作成しないで、内規を作成する方向で討議したいと報告があった。

経理部報告

現在の賛助会員数の報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

ピンクリボン事業

10 月 9 日（日） 乳がん講演会で「誰でもわかる簡単な乳癌のお話」を南和歌山医療センター 清水 幸生医師を講師として、関守住職の法話を交えながらの癒しのミニコンサートなどを行い閉幕したと報告があった。

H I V 事業

11 月 19 日（土）、和歌山大学で開催予定であり、実務委員として日赤医療センター、那賀病院、和歌山医大から 10 名を派遣すると報告があった。

第 17 回医療セミナー in わかやまについて

11 月 19 日（土）、第 17 回医療セミナー in わかやまは全国「検査と健康展」と同時開催であり、場所は和歌山医大研修センターで行う。今回は 2 名の医師による講演のみが行われる。実務委員として 5 名を派遣し、医大周辺地域に回覧板 2 千部とチラシ 1 万部を配布、また広告誌にも掲載したと報告があった。

全国「検査と健康展」

和歌山医大研修センター 3 階の会議室で行う。ストレス検査やポスター展示等を行い、臨床専門相談医の佐守先生が派遣されてくると説明があり、理事に協力要請があった。また理事より参加者の動きを把握しスムーズに事業が進行できるようにと助言があった。

定款・渉外
特になし

災害対策委員会

- ① 和歌山県臨床検査技師会災害マニュアルを制定するにあたり、H28年10月に災害連絡網模擬テストを行った、その結果災害時被災状況連絡シートの返信先などのトラブル等はあったが、今後の改正に繋げていくと説明があり審議した結果、和歌山県臨床検査技師会災害マニュアルとして承認された。
- ② 今後、年1回程度は色々な状況を想定したシミュレーションを実施し、和歌山県臨床検査技師会災害マニュアルを改訂していくと説明があった。
- ③ 災害フォーラムを12月23日（金）に開催予定であり、理事に協力要請があった。

精度管理

- ① 和臨技精度管理事業の進捗状況を以下のように報告があった。
 - (1) 10月17日（月）～31日（月）まで精度管理速報結果を和臨技HPに掲載。
 - (2) 精度管理調査願い書（是正報告書）を該当施設に対して行う。
 - (3) 報告書の作成期限は平成29年1月30日（月）
 - (4) 精度管理報告会前に和臨技HPに報告書をアップする。
 - (5) 参加証と共に最終報告書をCDに各施設に配布する。しかし来年度からは報告書の発行はホームページによる掲載のみの運用に切り替えたいと提案されたが継続審議となった。
- ② 和臨技精度管理報告会終了後に研修会に参加を要請する文章を各施設に配布したいと説明があり審議し承認された。

データ標準化
特になし

会誌編集

学術活動報告書の提出期限が迫っていますと報告があった。
論文募集に際して、各施設に募集協力要請があり会誌和臨技の募集締切り時期が12月1日（木）と報告があった。

ホームページ

現行の契約ではホームページの容量も少なく、掲載内容を整理するために、担当理事より項目一覧を提示し、削除項目を決定して行くことで承認された。

会報

会報67号は近畿学会の実務委員さんの写真、病院紹介、新理事紹介記事等の内容で掲載して11月に発行した。また会員には冊子、賛助会員にはPDFで配布したと報告があった。

月例行事予定表

会長より月間行事予定表を試験的にメーリングリストで配布したいと説明があり承認された。

日本臨床検査技師連盟 和歌山県支部
役員人事や投票率の報告があった。

その他

第 37 回和歌山県医学検査学会

和歌山県医学検査学会予算書の説明があった。

和歌山県医学検査学会プログラムの説明があった。

学会前日関連行事プログラムを 12 月中の提出要請があった。

コミュニケーション事業

9 月 24 日（土）に開催され 21 名の参加者があり、若手の交流ができたと報告があった。

久保理事より、日本医療マネジメント学会の演題募集と開催案内、また和臨技に対して後援依頼の報告があった。

久保理事より日本臨床検査技師会 免疫血清 WG では精度管理調査 免疫血清調査報告書作成が完了したと報告があった。

医療関連サービスマーク制度調査実地指導員として平成 28 年 11 月 26 日（土）にメディック奈良に調査に赴くと報告があった。

審議事項

一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 共催 協賛 後援内規案について、学術部長より参考資料を提示し和臨技役員の意見を聴取していくことで継続審議となった。

学術部報告で血液研究班班長より症例ライブラリを作成し勉強会等で使用したいと報告があり、各所属長に提出する申請書を作成するか、申請書を作成しないで内規を作成するかで審議した結果、常務理事会で審議した結果を一任で承認された。

畑副会長より閉会宣言で、今後、色々な事業があり役員各位の協力が必要であると挨拶があった。

記録作成	平成 28 年 11 月 5 日	氏 名	神藤 洋次	提 出	平成 28 年 11 月 11 日
------	------------------	-----	-------	-----	-------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可